

ワーキングチーム会議（第5回）の論点Ⅰ

若年層の消防団への入団を進めるには、こういった取組が求められるか。併せて、住民の防災意識の向上を図るにはどのような取組が重要か。

ア 若年層の消防団への入団を促進するためには、小中学校の頃からもっと消防や防災に関心を持ってもらうようにすべきとの意見がある。（アンケート結果）

一方で住民の防災意識、津波災害時の率先避難意識を高めるため、防災教育の充実が求められている。（岩手県釜石市立釜石東中学校）

（データ：消防団員の年齢構成の変化）

イ 少年消防クラブの取組

- ・宮城県気仙沼市立階上中学校の取組
- ・高校生への拡大
- ・「ぼうさいマップ」への取組

ウ 大学生団員の増加への取組

エ 女性消防団員の増加への取組

オ 地域防災スクール、チャレンジ防災48

カ 東日本大震災などの経験を伝えていくことの重要性（災害伝承）